

平成23年3月期 第3四半期  
決算説明資料



平成23年2月14日



# 目次

◇平成23年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト	P 3
◇平成23年3月期 通期連結業績予想	P12
◇市場環境及びグループ中期経営戦略	P21
◇当期の戦略	P31

## ご留意点

\* 2010年7月1日に㈱志摩電子工業を子会社化したことにより、当第2四半期より連結決算を行っております。

そのため、当第3四半期の連結業績数値(累計)には、㈱志摩電子工業の第1四半期(4月～6月)の業績数値は含まれず、第2四半期の業績数値から連結業績数値に含まれております。また、マレーシアは12月決算であり、第3四半期連結対象期間が7月～9月の3ヶ月のみとなります。前年同期の数値は、前期は連結決算を行っていないため、参考情報として単体数値を記載しております。

\* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。

# 平成23年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト



## 平成23年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト (P/L)

**前年比 売上高81.9%増、経常利益216.3%増**

項目/決算別 (単位：百万円)	第3四半期				第3四半期(累計)				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	5,450	5,991	541	109.9%	14,650	14,974	324	102.2%	8,231	+81.9%
売上総利益	635	721	86	113.5%	1,710	1,999	290	117.0%	1,363	+46.7%
(売上総利益率)	11.7%	12.0%	0.4%	-	11.7%	13.4%	1.7%	-	16.6%	-
販売管理費	530	556	26	105.0%	1,515	1,559	44	102.9%	1,227	+27.1%
(販売管理费率)	9.7%	9.3%	▲0.4%	-	10.3%	10.4%	0.1%	-	14.9%	-
営業利益	105	164	59	156.4%	195	441	246	226.0%	136	+224.0%
(営業利益率)	1.9%	2.7%	0.8%	-	1.3%	2.9%	1.6%	-	1.7%	-
経常利益	97	152	55	157.0%	182	418	236	229.4%	132	+216.3%
(経常利益率)	1.8%	2.5%	0.8%	-	1.2%	2.8%	1.5%	-	1.6%	-
当期純利益	58	100	42	172.4%	795	865	70	108.8%	95	+810.5%
(当期純利益率)	1.1%	1.7%	0.6%	-	5.4%	5.8%	0.4%	-	1.2%	-
現場社員数 (nms単体)	3,655	3,346	▲309	91.5%	3,655	3,346	▲309	91.5%	3,161	+5.9%

## 平成23年3月期 第3四半期累計連結業績について（P/L）

・事業別の詳細は、後述スライドのとおり。

売上高	14,974百万円	（前年同期比 81.9%増↑）
●IS事業	6,519百万円	（前年同期比 11.7%増↑）
●MS事業	2,417百万円	（前年同期比 34.0%増↑）
●GE事業	509百万円	（前年同期比 13.9%減↓）
●EMS事業	5,529百万円	

⇒前年同期に比して売上高は6,743百万円の大幅増収

売上総利益	1,999百万円	（前年同期比 46.7%増↑）
-------	----------	-----------------

⇒前年同期に比して売上総利益は636百万円の大幅増益

販管費	1,559百万円	（前年同期比 27.1%増↑）
-----	----------	-----------------

営業利益	441百万円	（前年同期比 224.0%増↑）
------	--------	------------------

経常利益	418百万円	（前年同期比 216.3%増↑）
------	--------	------------------

当期純利益	865百万円	（前年同期比 810.5%増↑）
-------	--------	------------------

⇒前年同期に比して営業利益+305百万円、経常利益+286百万円、  
当期純利益+770百万円

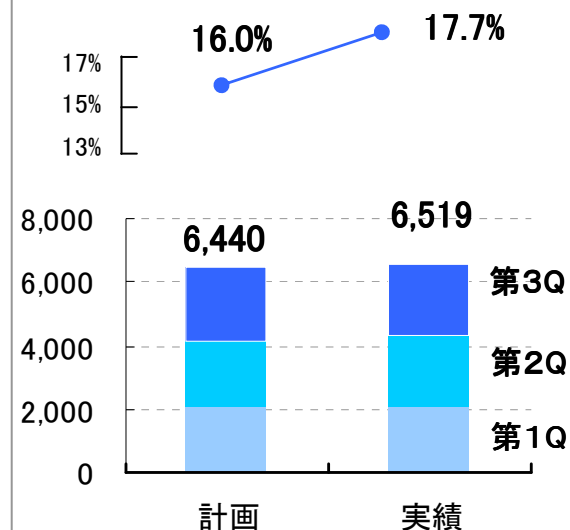
# 平成23年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

## IS事業 インラインソリューション事業

**売上総利益は計画達成するも  
売上高、現場社員数において計画未達成**

- ◇ものづくり力の競争優位によって、新規顧客の開拓と既存顧客の増員により前期比+11.7%の売上成長
- ◇請負業務の作業習熟及び新規案件の受注時の売上単価の改善により売上総利益率は対計画+1.7%、前期比+1.8%と大幅に改善

売上高及び売上総利益率



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	2,300	2,198	▲ 102	95.6%	6,440	6,519	79	101.2%	5,836	+11.7%
(構成比)	42.2%	36.7%	▲5.5%	-	44.0%	43.5%	▲0.4%	-	70.9%	-
売上総利益	379	405	26	106.9%	1,029	1,152	123	112.0%	926	+24.4%
(売上総利益率)	16.5%	18.4%	1.9%	-	16.0%	17.7%	1.7%	-	15.9%	-
現場社員数(人)	2,750	2,410	▲ 340	87.6%	2,750	2,410	▲ 340	87.6%	2,317	+4.0%

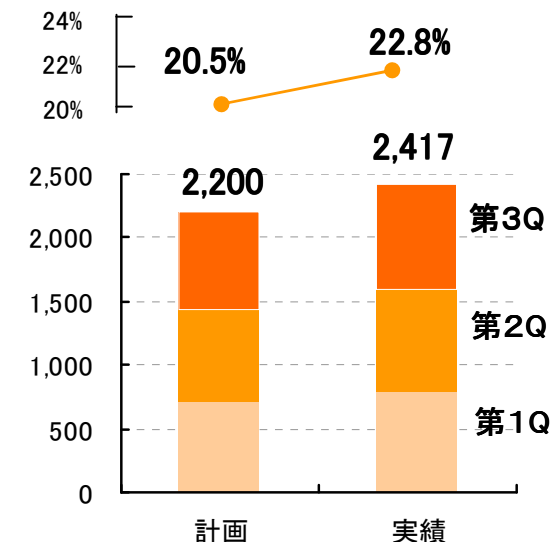
# 平成23年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

## MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

**売上高、売上総利益、現場社員数  
主要項目の全てにおいて大幅計画達成！**

- ◇修理技術の高評価によって既存修理業務の担当範囲が拡大し、  
前期比+34%の売上急増
- ◇修理ノウハウの蓄積と絶え間ない原価改善を前提とし、更なる事業  
拡充を図ったことより前期比+5.0%の売上総利益率大幅改善

売上高及び売上総利益率



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)				前年同期	前年 同期比
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	770	815	45	105.8%	2,200	2,417	217	109.9%	1,804	+34.0%
(構成比)	14.1%	13.6%	▲0.5%	-	15.0%	16.2%	1.2%	-	21.9%	-
売上総利益	157	187	30	119.1%	452	552	100	122.1%	321	+72.0%
(売上総利益率)	20.4%	22.9%	2.6%	-	20.5%	22.8%	2.3%	-	17.8%	-
現場社員数(人)	770	812	42	105.5%	770	812	42	105.5%	716	+13.4%

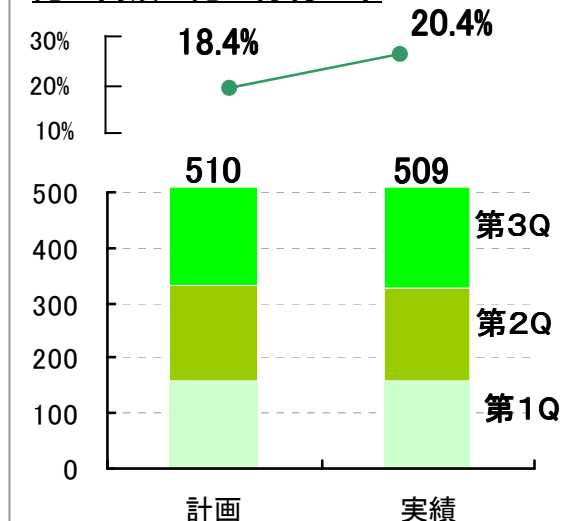
# 平成23年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

**GE事業** グローバルエンジニアリング事業  
(GS事業+ES事業)

**売上高、売上総利益は計画達成するも  
現場社員数において僅かながら未達成**

- ◇海外で当社グループの請負力を生かす「The UKEOI（グローバルフィールドでの請負）」ビジネスを展開し、新規顧客獲得活動を加速
- ◇待機コストの縮小を目指して採算管理の徹底を図ったことにより、**売上総利益率は計画比+1.9%、前期比+0.8%**

売上高及び売上総利益率



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	180	181	1	100.6%	510	509	▲1	99.8%	591	▲13.9%
(構成比)	3.3%	3.0%	▲0.3%	-	3.5%	3.4%	▲0.1%	-	7.2%	-
売上総利益	34	37	3	108.8%	94	104	10	110.2%	116	▲10.7%
(売上総利益率)	18.9%	20.4%	1.6%	-	18.4%	20.4%	1.9%	-	19.6%	-
現場社員数(人)	135	124	▲11	91.9%	135	124	▲11	91.9%	128	▲3.1%

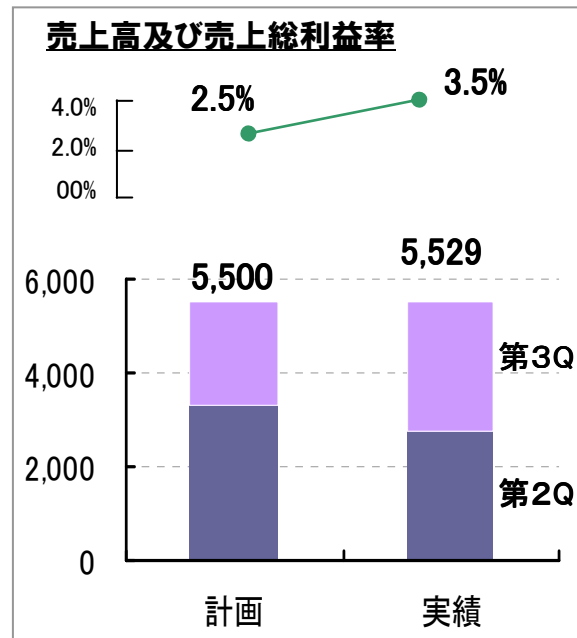


# 平成23年3月期 第3四半期 事業別業績ハイライト

## EMS事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

### 7月に当社グループ傘下となった志摩電子工業グループとの統合効果を模索

- ◇他事業との事業シナジーを発揮するため、事業戦略再構築に向け、営業面、技術面での見直しを精力的に進め、nmsのクライアントへの営業をスタート
- ◇志摩電子の原価管理にnms改善ノウハウを注入したことにより、売上総利益率は+1.0%改善



決算期 項目	第3四半期				第3四半期(累計)				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	2,200	2,797	597	127.1%	5,500	5,529	29	100.5%	-	-
(構成比)	40.4%	46.7%	6.3%	-	37.5%	36.9%	▲0.6%	-	-	-
売上総利益	65	92	27	141.5%	135	193	58	143.3%	-	-
(売上総利益率)	3.0%	3.3%	0.3%	-	2.5%	3.5%	1.0%	-	-	-

# 平成23年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト(B/S)

## 前期末比 総資産+4,775百万円、純資産+819百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	平成22年3月期	平成23年3月期 第3四半期		
	(10/3末)	(10/12末)	増減	前期末比
資産合計	3,117	7,892	4,775	253.2%
流動資産	2,831	6,964	4,133	246.0%
固定資産	286	928	642	324.4%
負債	1,821	5,777	3,956	317.2%
流動負債	1,821	4,746	2,925	260.6%
固定負債	-	1,031	1,031	-
純資産	1,296	2,115	819	163.2%
資本金	501	501	0	100.0%
資本剰余金	216	216	0	100.0%
利益剰余金	614	1,469	855	239.2%
その他	▲ 35	▲ 70	▲ 35	200.0%
負債・純資産合計	3,117	7,892	4,775	253.2%

志摩電子工業グループ買収により連結B/Sの各残高は増加

**流動資産 前期末比 +4,133 百万円**  
 現預金 +803百万円、受取手形及び売掛金 +1,659百万円、棚卸資産 +1,442 百万円  
 有価証券+349百万円と流動資産増加

**固定資産 前期末比 +642 百万円**  
 有形固定資産 +349百万円、投資その他 +296百万円

**流動負債 前期末比 +2,925 百万円**  
 支払手形及び買掛金 +1,707 百万円  
 短期借入金 +430 百万円  
 未払金 +350 百万円

**資本金 前期末比+0百万円**  
**資本剰余金 前期末比± 0百万円 変動なし**

**利益剰余金 前期末比 +855 百万円**  
 当期純利益 865百万円、前期配当金  
 △10百万円

**その他 前期末比 ▲35 百万円**  
 新株予約権 +10百万円、有価証券評価差額  
 +25百万円、為替換算調査勘定△70百万円

## 平成23年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト(C/F 主な指標)

### 営業キャッシュ・フローが312百万円改善

#### <C/F>

項目/決算別 (単位：百万円)	平成22年3月期 第3四半期累計期間	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	346	658	312
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 78	▲ 201	▲ 123
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 264	700	964
現金及び現金同等物の 増減額	4	1,142	1,138
現金及び現金同等物の 四半期末残高	898	2,044	1,146

#### <主な指標>

項目/決算期	平成22年3月期 第3四半期会計期間	平成23年3月期 第3四半期連結会計期間	増減
1株あたり純資産(円)	57,856.17	105,312.97	47,456.80
自己資本比率(%)	38.7	26.6	▲ 12.1

項目/決算期	平成22年3月期 第3四半期累計期間	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間	増減
1株あたり純利益(円)	4,724.07	43,453.08	38,729.01

# 平成23年3月期 通期連結業績予想



## 平成23年3月期 通期業績予想（単体）

**売上高:前期比+15.8%超、利益:営業利益で前期比+78.7%超**

項目/決算別 (単位:百万円)	参考)第3四半期累計				平成23年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	8,231	9,445	1,214	+14.7%	11,224	13,000	1,776	+15.8%
売上総利益	1,363	1,806	443	+32.5%	1,914	2,415	501	+26.2%
(売上総利益率)	16.6%	19.1%	2.5%	-	17.1%	18.6%	1.5%	-
販売管理費	1,227	1,454	227	+18.5%	1,679	1,995	316	+18.8%
(販売管理费率)	14.9%	15.4%	0.5%	-	15.0%	15.3%	0.4%	-
営業利益	136	351	215	+158.1%	235	420	185	+78.7%
(営業利益率)	1.7%	3.7%	2.0%	-	2.1%	3.2%	1.1%	-
経常利益	132	344	212	+160.6%	230	400	170	+73.9%
(経常利益率)	1.6%	3.6%	2.0%	-	2.0%	3.1%	1.0%	-
当期純利益	95	194	99	+104.2%	230	210	▲20	▲8.7%
(当期純利益率)	1.2%	2.1%	0.9%	-	2.0%	1.6%	▲0.4%	-
現場社員数	3,161	3,346	185	+5.9%	3,213	3,730	517	+16.1%

\* 平成23年3月期の通期業績予想(単体)につきましては、平成22年7月26日に公表した予想より変更はありません。  
ただし、今後、業績動向に変化が与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

## 平成23年3月期 通期連結業績予想

**売上高:前期比+87.1%超、利益:営業利益で前期比倍増+100.0%**

項目/決算別 (単位:百万円)	参考)第3四半期累計				平成23年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	8,231	14,974	6,743	+81.9%	11,224	21,000	9,776	+87.1%
売上総利益	1,363	1,999	636	+46.7%	1,914	2,620	706	+36.9%
(売上総利益率)	16.6%	13.3%	▲ 3.3%	-	17.1%	12.5%	▲ 4.6%	-
販売管理費	1,227	1,559	332	+27.1%	1,679	2,150	471	+28.1%
(販売管理费率)	14.9%	10.4%	▲ 4.5%	-	15.0%	10.2%	▲ 4.7%	-
営業利益	136	441	305	+224.0%	235	470	235	+100.0%
(営業利益率)	1.7%	2.9%	1.2%	-	2.1%	2.2%	0.1%	-
経常利益	132	418	286	+216.3%	230	440	210	+91.3%
(経常利益率)	1.6%	2.8%	1.2%	-	2.0%	2.1%	0.0%	-
当期純利益	95	865	770	+810.5%	230	700	470	+204.3%
(当期純利益率)	1.2%	5.8%	4.6%	-	2.0%	3.3%	1.3%	-
現場社員数 (nms単体)	3,161	3,346	185	+5.9%	3,213	3,730	517	+16.1%

\* 平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年8月2日に公表した予想より変更はありません。  
ただし、今後、業績動向に変化が与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

## 平成23年3月期 通期連結業績予想概要

売上高	21,000百万円	(前年同期比 87.1%増↑)
●IS事業	8,980百万円	(前年同期比 13.2%増↑)
●MS事業	3,270百万円	(前年同期比 29.5%増↑)
●GE事業	750百万円	(前年同期比 1.6%減↓)
●EMS事業	8,000百万円	

売上総利益 2,620百万円 (前年同期比 36.9%増↑)

販管費 2,150百万円 (前年同期比28.1%増↑)

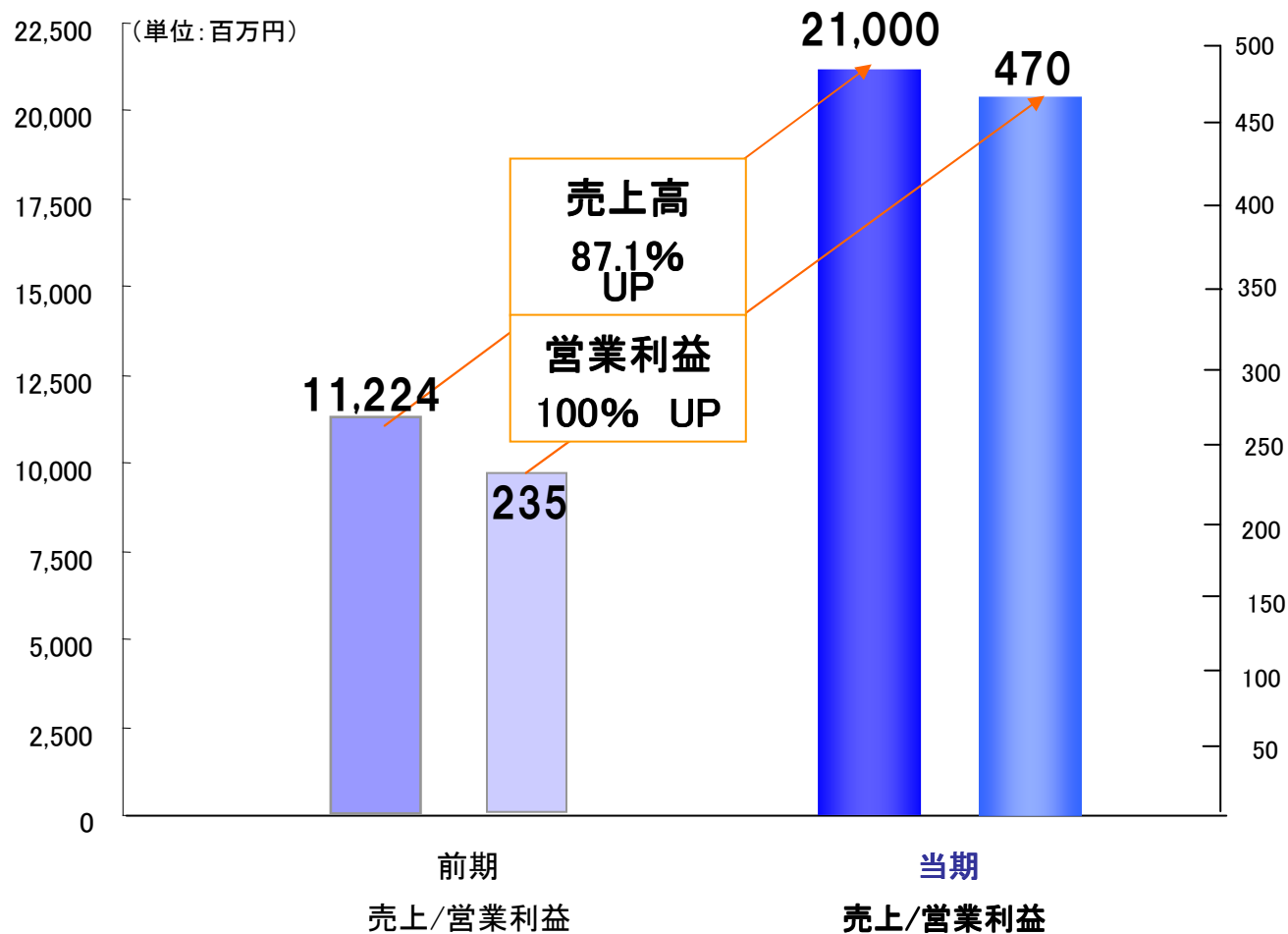
営業利益 470百万円 (前年同期比 100%増↑)

経常利益 440百万円 (前年同期比 91.3%増↑)

純利益 700百万円 (前年同期比 204.3%増↑)

## 平成23年3月期 通期連結業績予想概要

売上高:前期比+85%超、利益:営業利益で前期比倍増(+100%)





# 平成23年3月期 事業別業績見通し

## IS事業 インラインソリューション事業

売上高13.2%増 売上総利益18.1%増

項目/決算別 (単位:百万円)	参考)第3四半期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	5,836	6,519	683	+11.7%	7,936	8,980	1,044	+13.2%
(構成比)	70.9%	43.5%	▲27.4%	-	70.7%	42.8%	▲27.9%	-
売上総利益	926	1,152	226	+24.4%	1,296	1,531	235	+18.1%
(売上総利益率)	15.9%	17.7%	1.8%	-	16.3%	17.0%	0.7%	-
現場社員数(人)	2,317	2,410	93	+4.0%	2,369	2,800	431	+18.2%

## MS事業 マニファクチャリングソリューション事業

売上高29.5%増 売上総利益56.4%増

項目/決算別 (単位:百万円)	参考)第3四半期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,804	2,417	613	+34.0%	2,526	3,270	744	+29.5%
(構成比)	21.9%	16.1%	▲5.8%	-	22.5%	15.6%	▲6.9%	-
売上総利益	321	552	231	+72.0%	468	732	264	+56.4%
(売上総利益率)	17.8%	22.8%	5.0%	-	18.5%	22.4%	3.9%	-
現場社員数(人)	716	812	96	+13.4%	720	790	70	+9.7%

## 平成23年3月期 事業別業績見通し

### GE事業

グローバルエンジニアリング事業  
(GS事業+ES事業)

売上高1.6%減 売上総利益1.3%増

項目/決算別 (単位:百万円)	第3四半期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	591	509	▲ 82	▲13.9%	762	750	▲ 12.0	▲1.6%
(構成比)	7.2%	3.4%	▲3.8%	-	6.8%	3.6%	▲3.2%	-
売上総利益	116	104	▲ 12	▲10.7%	150	152	2	+1.3%
(売上総利益率)	19.6%	20.4%	0.7%	-	19.7%	20.3%	0.6%	-
現場社員数(人)	128	124	▲ 4	▲3.1%	124	140	16	+12.9%

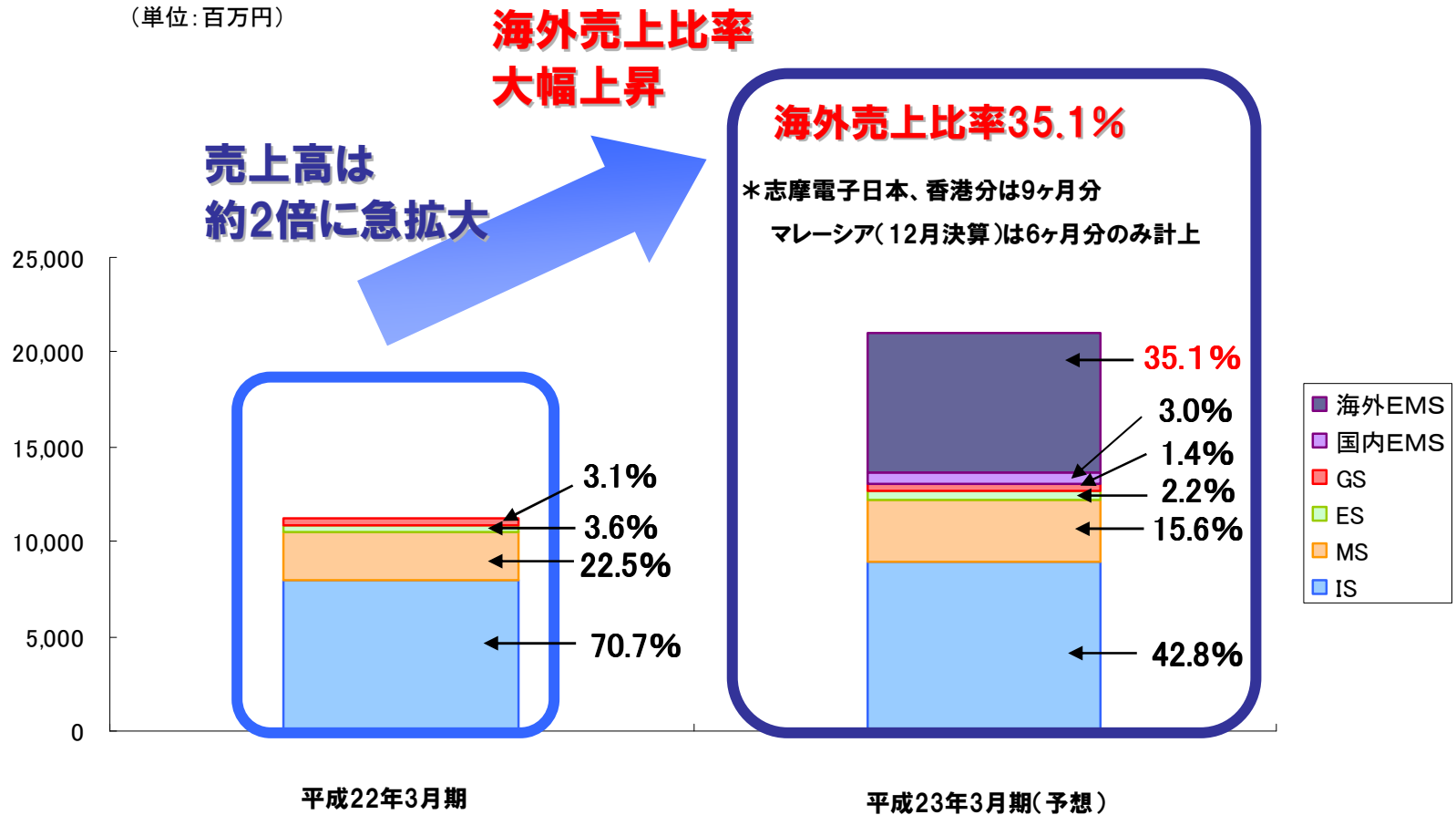
### EMS事業

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

項目/決算別 (単位:百万円)	第3四半期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	-	5,529	-	-	-	8,000	-	-
(構成比)	-	36.9%	-	-	-	38.1%	-	-
売上総利益	-	193	-	-	-	205	-	-
(売上総利益率)	-	3.5%	-	-	-	2.6%	-	-

# 事業別売上構成

(単位: 百万円)



**総還元性向（配当＋自己株式取得）  
20％を目標**

**【前期（25期）の配当及び自己株式取得の実績】**

**総還元性向：10.0%**

**【配当】**

現金配当：500円

配当性向：4.3%

**【自己株式取得】**

取得株数：527株

取得総額：13,024,540円

還元性向：5.7%

# 市場環境及び グループ中期経営戦略



# 市場環境

①円高、高い法人税率等により  
生産拠点の海外移管が急加速

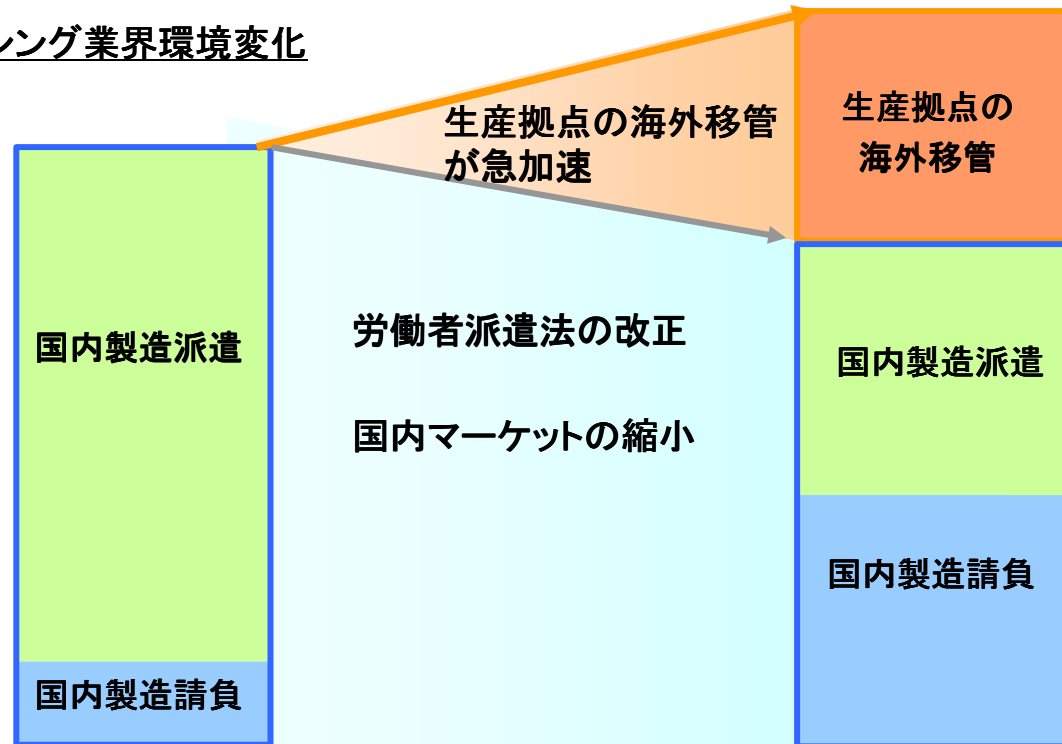
②労働者派遣法の  
改正

③国内マーケットの  
縮小

「生産拠点の海外移管」の加速で海外生産の増加、国内生産が減少傾向  
→海外も含めた製造アウトソーシング規模は増加傾向

(市場規模)

## 製造アウトソーシング業界環境変化



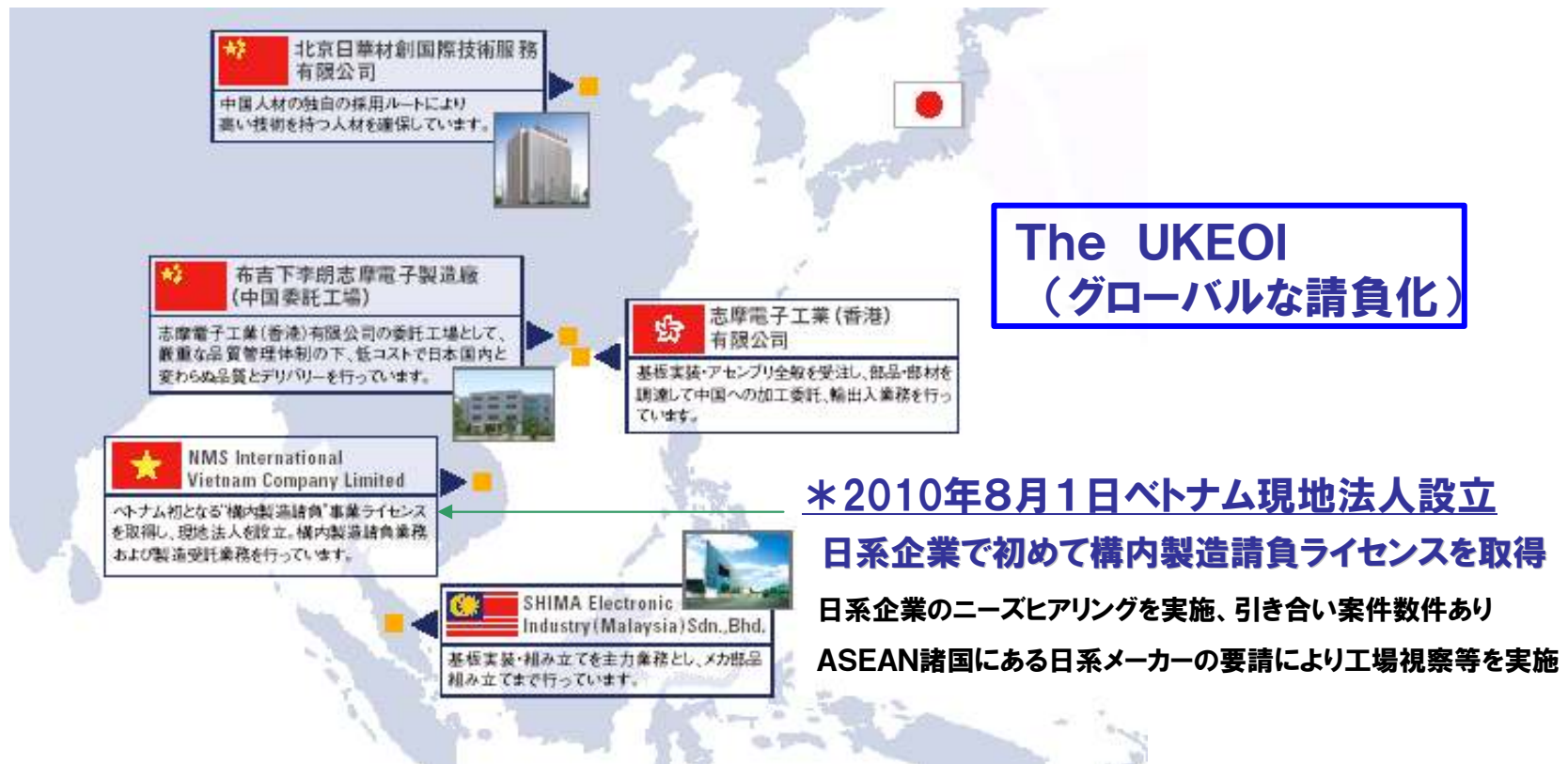
(将来)

## 市場環境への戦略①

### ①「生産拠点の海外移管」への戦略

**グローバルな請負体制を拡充し、The UKEOI(グローバルな請負化)を加速**

「生産拠点の海外移管」に備え、子会社化した志摩電子工業の中国、マレーシア工場、8月に日系企業初となる構内製造請負ライセンスを取得したベトナムを中心に展開を加速



## 市場環境への戦略②

### ②「労働者派遣法の改正」への戦略

#### 労働者派遣法の改正の流れ

2010年(平成22年)

2月:改正派遣法案要綱を労働政策審議会に諮問

3月:改正派遣法案要綱を国会へ提出(3月19日閣議決定)



その後、参議院選挙等により保留

10月7日 製造派遣社員の約8割 派遣法改正は「失業」をもたらすと認識  
(東京大学社会科学研究所アンケート調査)

10月21日 派遣法改正 先見えず(朝日新聞)

11月2日 製造業派遣の利用企業 8割強「禁止に反対」(日経新聞\*業界団体調べ)

11月12日 労働者派遣法改正案の今国会成立が困難に(朝日新聞)

**昨今の動き** 2011年現在 労働者派遣法の改正の行方は依然膠着状態

当社は製造請負、製造派遣(常用型)両方のサービスを提供し、メーカー各社から安心して選択される会社

### 高い競争優位性・シェア拡大

「圧倒的な請負力」で  
業界他社との差別化

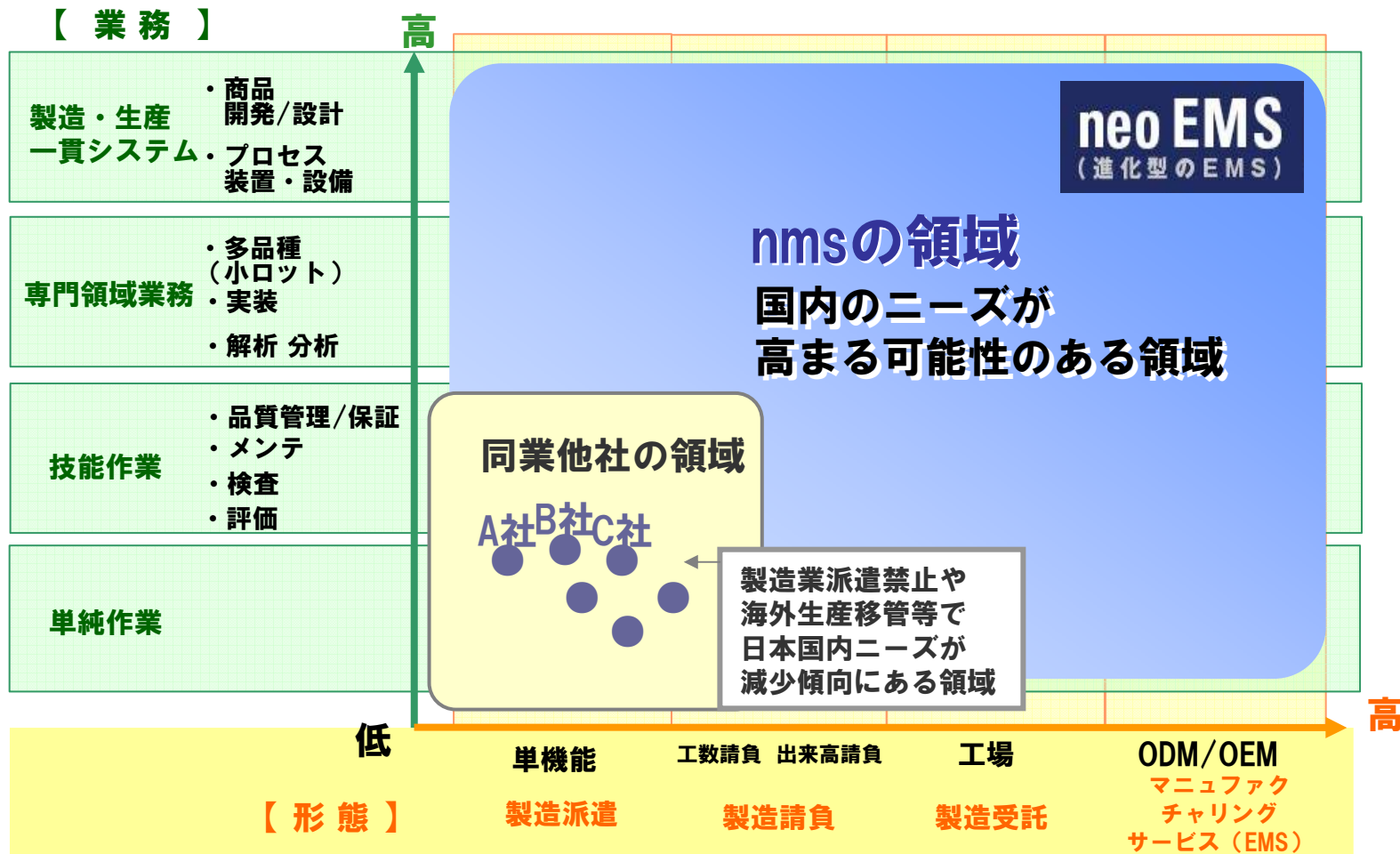
「常用雇用型製造派遣100%」で  
製造派遣市場を獲得



# 市場環境への戦略③

## ③「国内マーケット縮小」への戦略

### 国内存続事業(国内のニーズが高まる可能性領域)の拡大



## 市場環境への戦略

### 海外潜在マーケットの開拓

グローバルな請負体制を拡充し、  
The UKEO(グローバルな請負化)を加速

### 国内マーケットのシェア拡大

請負化提案を強化  
国内存続事業の拡大



これまでにない「新しいモノづくりソリューション会社」として  
**新・事業戦略コンセプト neo EMS(進化型のEMS)**  
をグローバルに展開し、企業価値を増大

これまでにない「新しいモノづくりソリューション会社」  
neo EMS(進化型のEMS) をグローバルに展開

**neo EMS**  
(進化型のEMS)

人材ビジネスの持つ  
「人材提供の機動性」

+

EMSの持つ設計から製品組立に至る  
「モノづくり」



日本のメーカーが求める「モノづくり」ができ、  
設計、開発、実装、製造、修理、CS等、ワンストップサービスを提供

# 新・事業戦略コンセプト

従来のEMS = 設備投資型 大量生産型向けのビジネス展開

## 人材ビジネスの持つ機動性を有した neo EMS

日本のメーカーが求める「モノづくり」ができ、  
設計、開発、実装、製造、修理、CS等、  
ワンストップサービスを提供

人材ビジネスの持つ  
「人材提供の機動性」



EMSの持つ設計から製品組立に至る  
「モノづくり」



# neo EMS（進化型のEMS）の展開

## neo EMS(進化型のEMS)をグローバルに展開

ISとMSの製造関連事業にESとGSの技術力や海外の活用事業をバランスさせた総合の「モノづくり力と技術力」とそれを提案する「トータルソリューション営業力」の構築

-  既存展開中
-  本年度立上

実装工程以降の充実化による設計業務取込み

→ODMとしてモノづくりノウハウの発揮

既存の設備・ノウハウにて顧客開拓

→志摩の技術をnmsの顧客へ

志摩の拠点を活かしてグローバル展開

ワンストップサービスのキーポイント

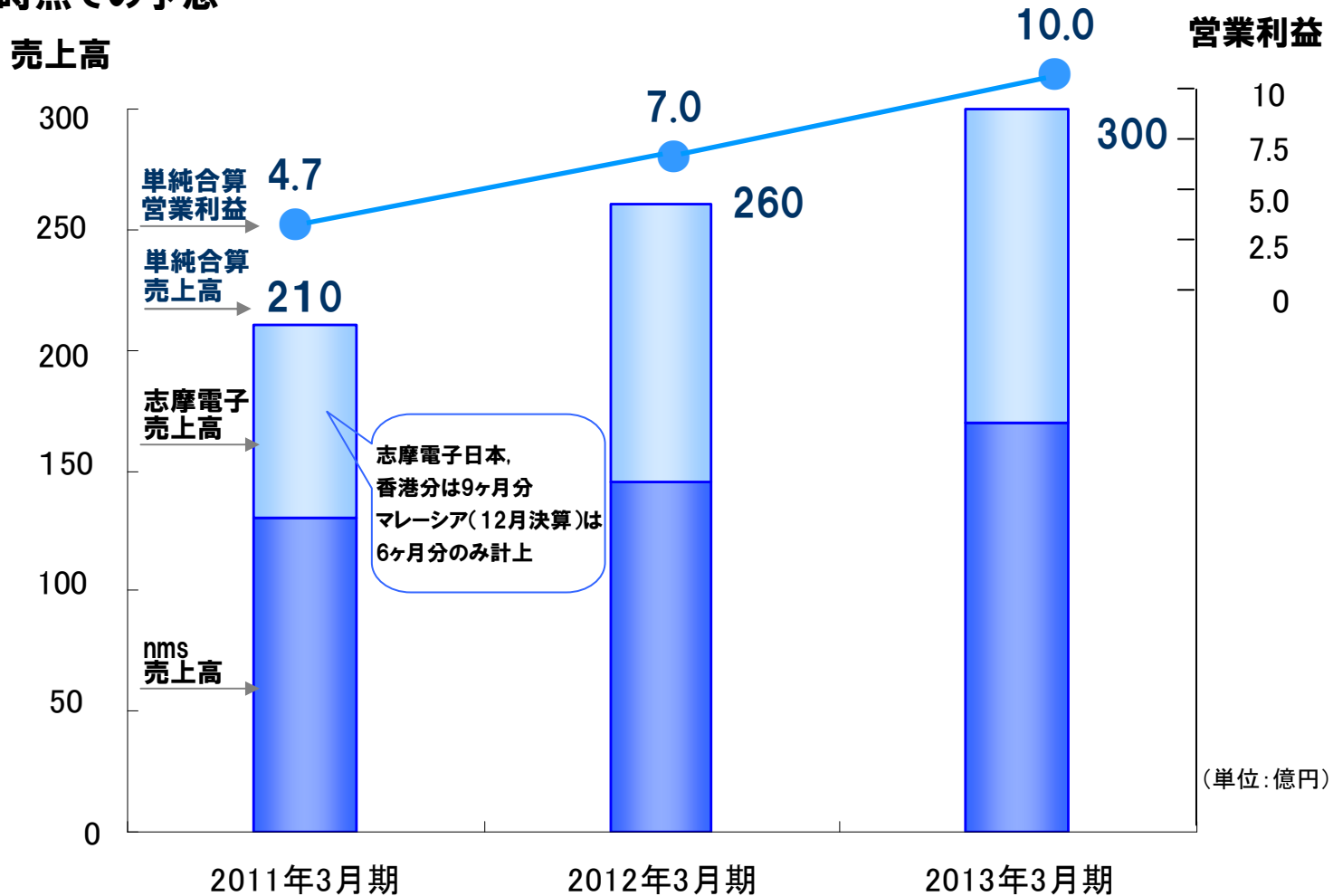
neoEMSの付加価値ポイント

nms		メーカー業務フロー・領域								
		開発・設計・試作・評価		製造			物流		CS・サービス	
		開発・設計	試作・評価	実装	組立	検査	梱包	荷扱・輸送	コール	修理
国内	IS事業			○	○	○	○	○		
	MS事業			○		○			○	○
	GE事業	○	○							
	EMS事業	○	○	○	○	○				
海外	中基衆合			●	●	●	●	●		
	nmsベトナム			●	●	●	●	●		
	志摩電子工業 (香港/中国)		○	○	●	●				
	SHIMA Malaysia		○	○	●	●				

# グループ中期経営計画 数値目標

中期nmsグループ連結業績目標			
売上高	300億円	営業利益	10億円

現時点での予想

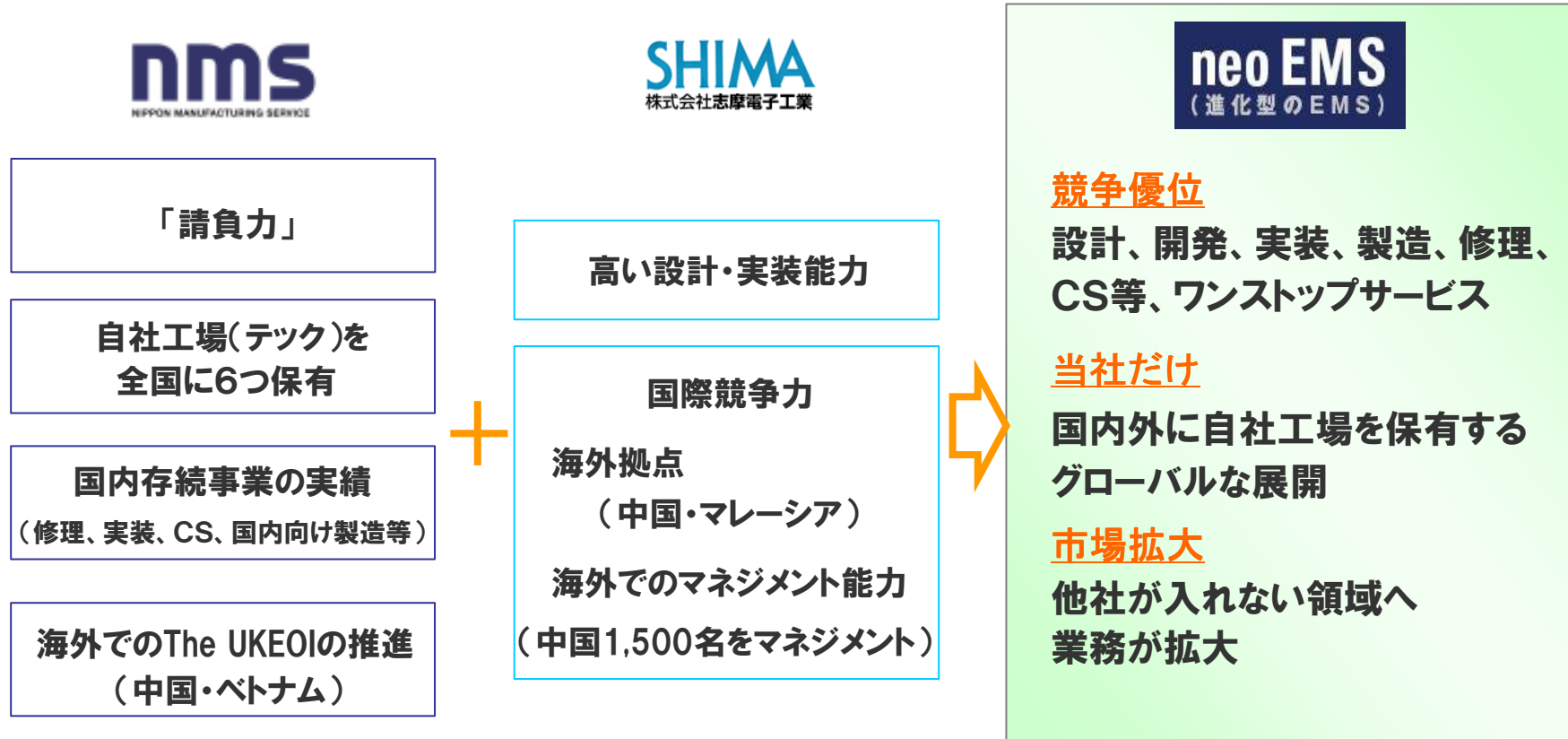


# 当期の戦略



# 全体戦略

neoEMS(進化型EMS)の実現に向けて、  
子会社化した(株)志摩電子工業とのシナジーを創出する







## IS事業 インラインソリューション事業

### 完全請負化による業界他社との差別化(業容拡大)

- ✓ 既存顧客の契約を全て請負化に移行
- ✓ 新規顧客の開拓

請負化に向けた過程における製造派遣においても  
**「完全な常用雇用型派遣」**を展開する当社の優位性を活かし、シェアを拡大

「**完全な**  
常用雇用型派遣」



- 業界内に類のない無期雇用の形態
- メーカーニーズに合致
- 人材確保面でも優位

高い競争優位性  
シェア拡大

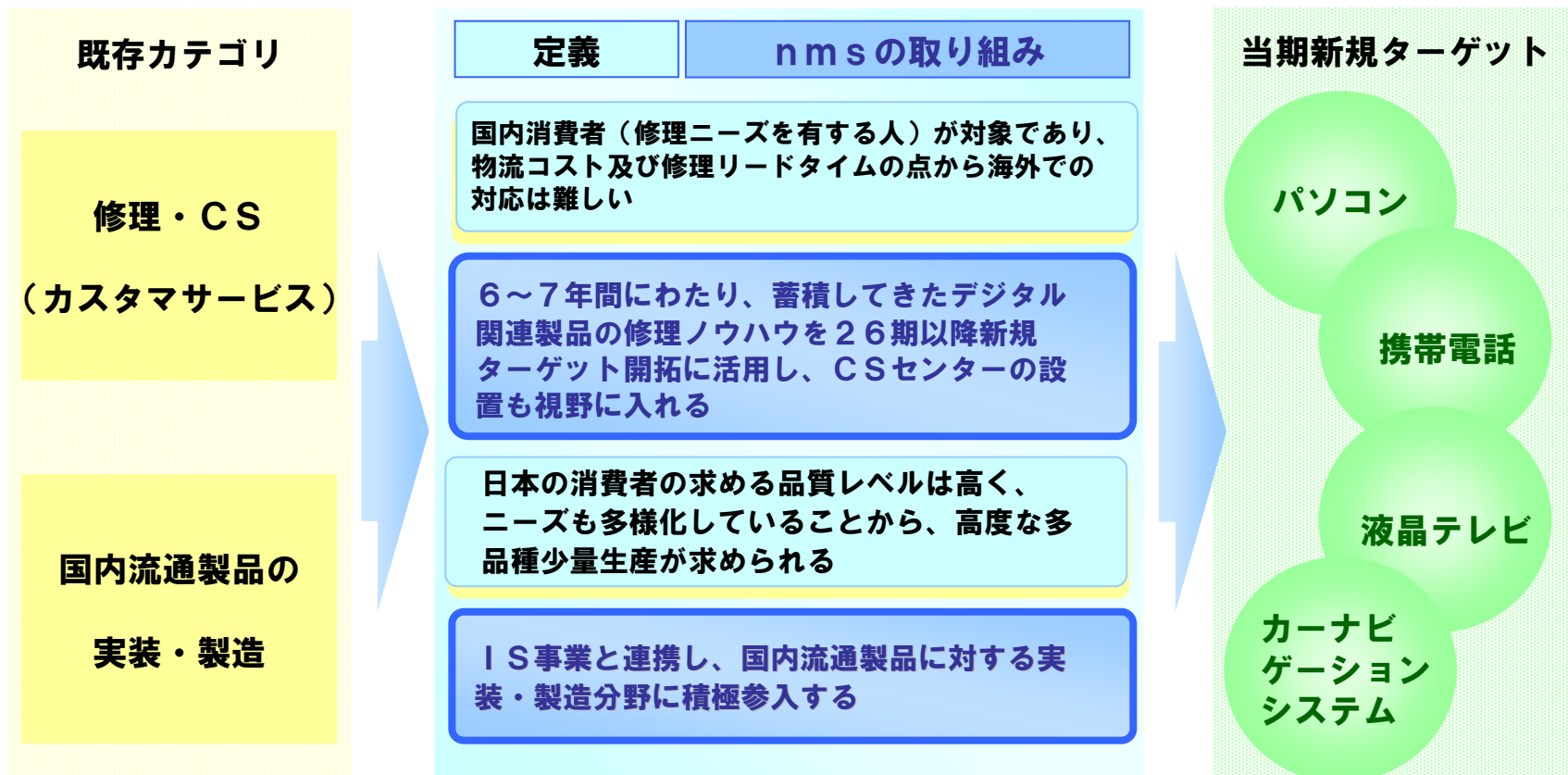
【製造派遣に関する閣議決定(「製造派遣を常用型に限り認める」)による法解釈と業界動向】

解釈	有期雇用	グレーゾーン 有期雇用 【緩めの解釈】	無期雇用 【完全解釈】
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年未満</li> <li>● 不安定な雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年以上又は(通算)1年以上</li> <li>● 不安定な雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期限の定めのない雇用</li> <li>● 65歳定年制</li> </ul>
派遣形態	登録型派遣業者 登録型派遣	登録型派遣業者 ↓ 登録型? or 通算1年の常用型?	nms ↓ nmsの考える <b>完全常用型派遣</b>

## MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

## 国内存続事業の拡大

### 既存ビジネスにより培った修理技術を基に 修理ビジネス拡大と新規ターゲット開拓を図る



# 事業別戦略

## GE事業 グローバルエンジニアリング事業 (GS事業+ES事業)

「生産拠点の海外移管」に備え、グローバルな請負体制を拡充し、The UKEO(グローバルな請負化)を加速



「生産拠点の海外移管を検討する日系企業へ、生産拠点、生産形態ともに幅広い選択肢を提供」

2011年3月期 第1Q～第3Qまでの展開


当社のアドバンテージ

2010年7月、8月

ベトナム現地法人設立   
日系企業初の構内製造請負ライセンスを取得  
構内製造請負サービス開始

日系メーカーの需要を先取りした、  
東南アジア製造拠点の取得

2010年12月、2011年1月

  
「北京中基衆合国際技術服务有限公司」(合併会社)を設立  
労務派遣に関する営業許認可を日系企業で初めて取得  
日系企業初の中国内製造派遣事業開始

規模の大きい中国での製造派遣市場で、  
優位性を確保

## EMS事業との連携



志摩電子工業グループ買収    
中国深圳工場  
(布吉下李朗志摩電子製造廠)  
マレーシア工場   
(SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn .,Bhd.)

海外EMS事業を取得

- ・ 順調の稼動する海外拠点の所得
- ・ 海外生産マネジメントノウハウの取得

# 中国において労務派遣\*1に関する営業許認可を日系企業で初めて取得し\*2、日系企業初の中国内製造派遣事業開始

\*1: 日本でいう製造派遣、技術者派遣等含む

\*2: 当社子会社の北京日華材創服務有限公司を通じて中国に平成22年12月15日に設立した合弁会社「北京中基衆合国際技術服務有限公司」が取得

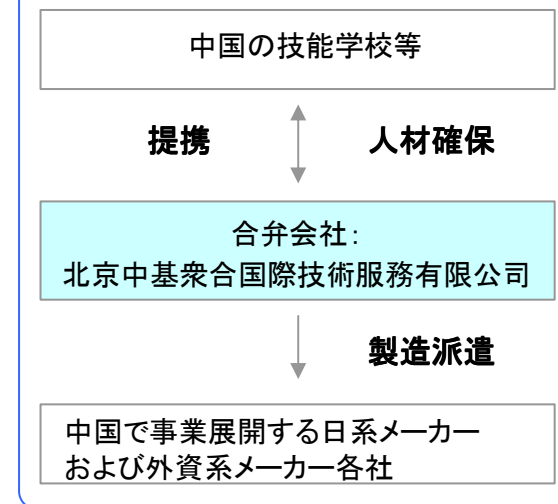
### Point 1

急速な経済成長により、中国で事業展開する日系メーカーの課題となっている生産現場での人材確保を解決

### Point 2

当社のグローバル事業におけるサービス力強化  
→ 他社との明確な差別化

#### サービス提供の流れ

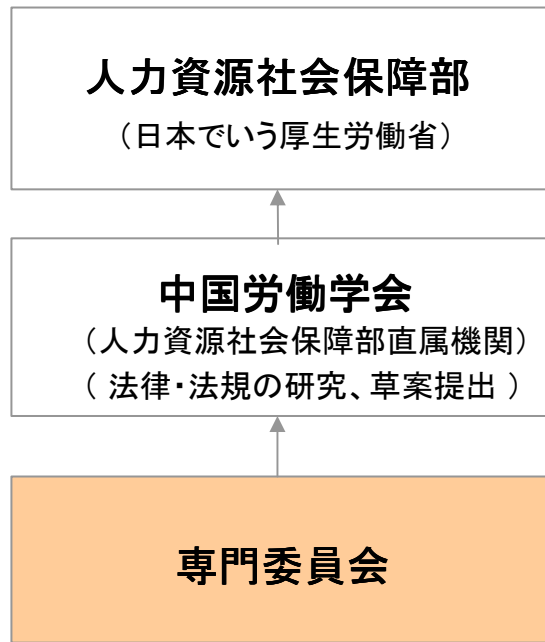


本年度は当社の子会社である(株)志摩電子工業の深圳工場や日系および外資メーカーに向け、約3,000名の派遣を予定。

## 中国労働学会の専門委員会メンバーに唯一選任され、 中国国内の人材派遣市場における法制化の活動に参画

中国での労務派遣市場で優位性を確保し、積極的に事業を展開

〔専門委員会の組織図、及び役割〕



### 「中国労働学会－専門委員会」

:中国で初めて設立された労務派遣業界の基準、法律等の制定に係る専門委員会

#### 委員会の役割:中国国内での人材市場における法制化の活動

#### ●選任メンバー23の機関・企業

メンバーの内訳:民間4社(内外資1社(nms))

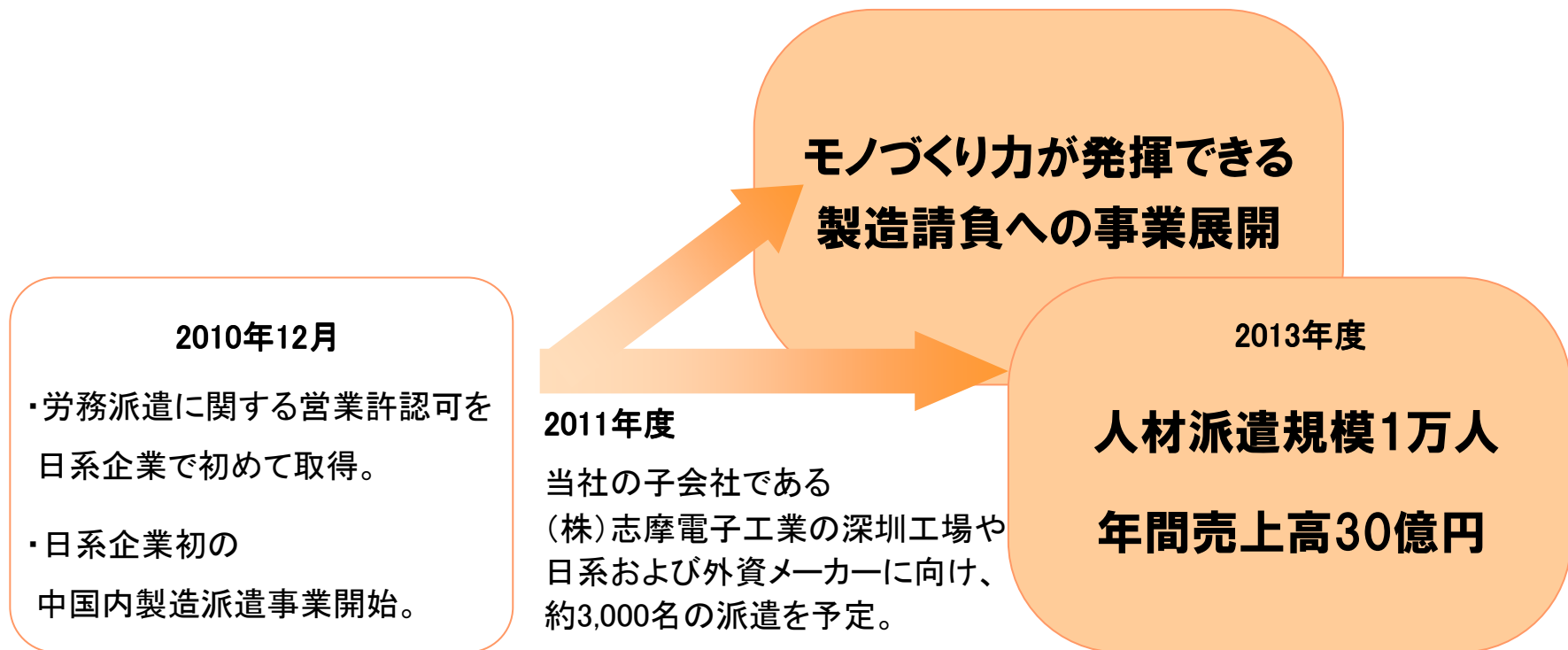
- ・民間からは4社のみであり、また外資ではnmsが唯一の選任
- ・当社以外の民間3社は、人材派遣実績が10万名を超える企業・機構。  
nmsは、現在中国の実績がないにもかかわらず選任されました。

この委員会への参画により、中国国内での人材市場における法制化に  
当社の意思を優先的反映でき、中国労務派遣市場での優位性を確保し、  
積極的な事業展開が可能になります。

## 事業別戦略

(今後の展開)

**中国での労務派遣市場で優位性を活かし、  
人材派遣事業(人材ビジネス)から、当社のモノづくり力が発揮できる製造請負事業への展開を図ります**



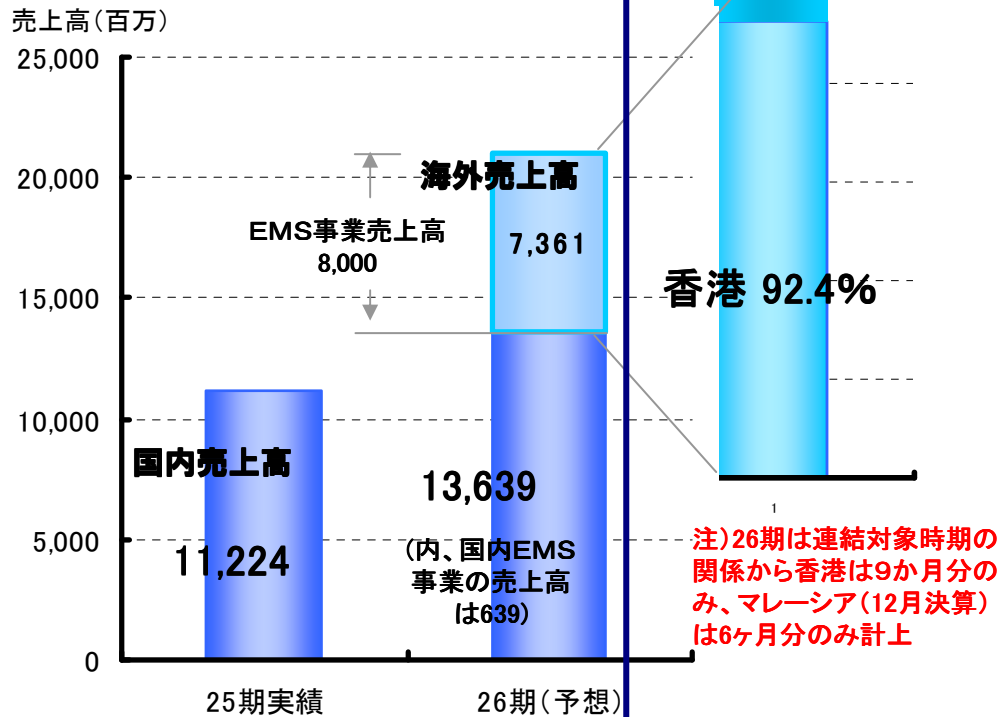


# 事業別戦略

## EMS事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業

(株)志摩電子工業の持つ海外でのマネジメント能力、海外拠点にnmsの充実した顧客と広がる海外拠点を加え、国際競争力を拡大

### 26期通期(予想)における海外売上高比率は35.1%



#### ■充実した顧客

#### ■高いモノづくり能力

・海外でのThe UKEOIの推進

#### ■海外拠点

中 国

北京日華材創国際技術服务有限公司

ベトナム

ベトナム現地法人

#### ■国内No.1の自社工場(テック)

#### 海外でのモノづくり能力

・高い設計・実装能力

・海外でのマネジメント能力

#### 海外拠点

香 港

志摩電子工業(香港)有限公司

nmsと志摩の統合により、顧客アプローチ先およびサービス内容が拡大し、メーカー各社からの引合案件多し

## 国際競争力UP



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

#### 本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社  
コーポレート本部 広報IRグループ  
Tel:03-5333-1711  
E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp